

こんにちは、東京大学経済学部 4 年の K です！

受験をしたのは随分前のことになりますが、記憶の限り私の経験を伝えられたらいいなと思います。

私が東大への進学を考え始めたのは高校 1 年生の時でした。もともと知り合いの東大生からの話を聞いて面白そう、楽しそうと思っていたこともありますが、一番大きなきっかけは、友人と秋の東大の学祭に行き、内容が非常に刺激的だったことでした。友人とそのまま東大を目指すことに決め、勉強を始めました。

そこからのスケジュールは、高 1・高 2 は英数国の基礎固め、高 3 は地歴に本格的に取り組むといった形でした。

高 2 の秋に部活を引退するまでは週 5 程度で部活に取り組んでいたのであまり時間を割けず、基本的には学校の授業の復習が中心でした。英数は塾にも通っていましたが、特に数学の復習が不十分であり力にならず、後で復習する羽目になり大変でした。

高 3 になってからは地歴も塾にも通ってインプット・アウトプット両方の対策を本格的に開始し、英・数・国は力の維持のために定期的に復習と問題演習をするのみにとどめていました。12 月からはセンターの対策に全力で取り組み、センター後に二次対策を再開し、最終的に合格しました。

よくある質問として勉強時間がありますが、参考までに私は引退前に 1 日 2～3 時間/日、引退後には平日 4 時間/日、休日 8 時間/日程度勉強していたように思います（集中力がないので実際に勉強できている時間はもっと短かった気がします(笑)）。これはあくまで一例で、皆さんには勉強時間の長さよりは、やるべきことを終わらせられるかを重視してほしいと思います。私も疲れ切っているときにだらだら勉強しても身につかないと思ったので、眠い時はすぐ寝るようにしていました。

部活を引退するまでは受験勉強に腰を据えて取り組むことができなかったのが、不安に思った時期もありましたが、学校や塾で習った範囲をきちんと身につけ、基礎をしっかり固めていれば、意外となんとかなるものだと思います。実際周囲の東大生にも部活動などの課外活動に全力で取り組んでいた方は多いです。今両立に関して不安を抱いている方は、最低限の勉強はしつつ、その活動に全力で取り組むほうが大学生になってから後悔がないと思います。

また精神面では、同じく東大を目指している友達が大きな支えになりました。私は愛知県出身で、東大志望者が首都圏ほど多くない高校に通っていたため、勉強方法や自分の相対的な位置について不安に思うことが多かったです。そのようなとき、同じ東大志望

の友人と話すことで情報を手に入れたり、お互いに悩みを共有して不安を解消したりしていました。

もし周りに東大志望の友達がないという方は、ぜひ東大生にいつでも相談してください。成績や勉強方法への不安、その他他愛のない質問でも、他の人に相談すると発見があったりするので、一人で抱え込まずにどんどん頼ってもらえると嬉しいです！